

株式会社 トリケミカル研究所

第34期(2012年1月期)

決算説明資料

大阪証券取引所JASDAQ市場
証券コード: 4369

2012.3

1.2012年1月期連結業績

2012年1月期連結業績の概要

単位:百万円

	11.1期	12.1期	増減額	増減率(%)
売上高	3,192	4,015	+822	+25.8%
営業利益	236	322	+86	+36.5%
経常利益	215	297	+82	+38.0%
当期純利益	155	181	+26	+17.3%

売上高

・40億円(創業以来最高売上)を達成

利益

・主に売上増に伴う利益の増加

財政状態の概要(貸借対照表)

単位:百万円

	11.1期末	12.1期末	増減額
流動資産	1,906	2,247	341
固定資産	2,087	2,111	24
資産合計	3,993	4,358	365
流動負債	1,350	1,546	195
固定負債	319	335	15
負債合計	1,670	1,881	210
株主資本	2,363	2,526	163
その他包括利益	-40	-48	-8
純資産合計	2,323	2,477	154
負債純資産合計	3,993	4,358	365

主な増減要因

流動資産

現預金の増加	+236
棚卸資産の増加	+123

流動負債

仕入の増加による買掛金の増加	+70
増益による未払法人税等の増加	+87

純資産

純利益計上による利益剰余金の増加	+141
------------------	------

財政状態の概要(キャッシュ・フロー)

単位：百万円

	11.1期	12.1期
営業活動による キャッシュ・フロー	610	528
投資活動による キャッシュ・フロー	-151	-306
財務活動による キャッシュ・フロー	-191	16
現金及び現金同等物の 増減額	263	236
現金及び現金同等物の 期末残高	405	642

CFの状況

営業CF

税前純利益計上	+309
減価償却費計上	+253

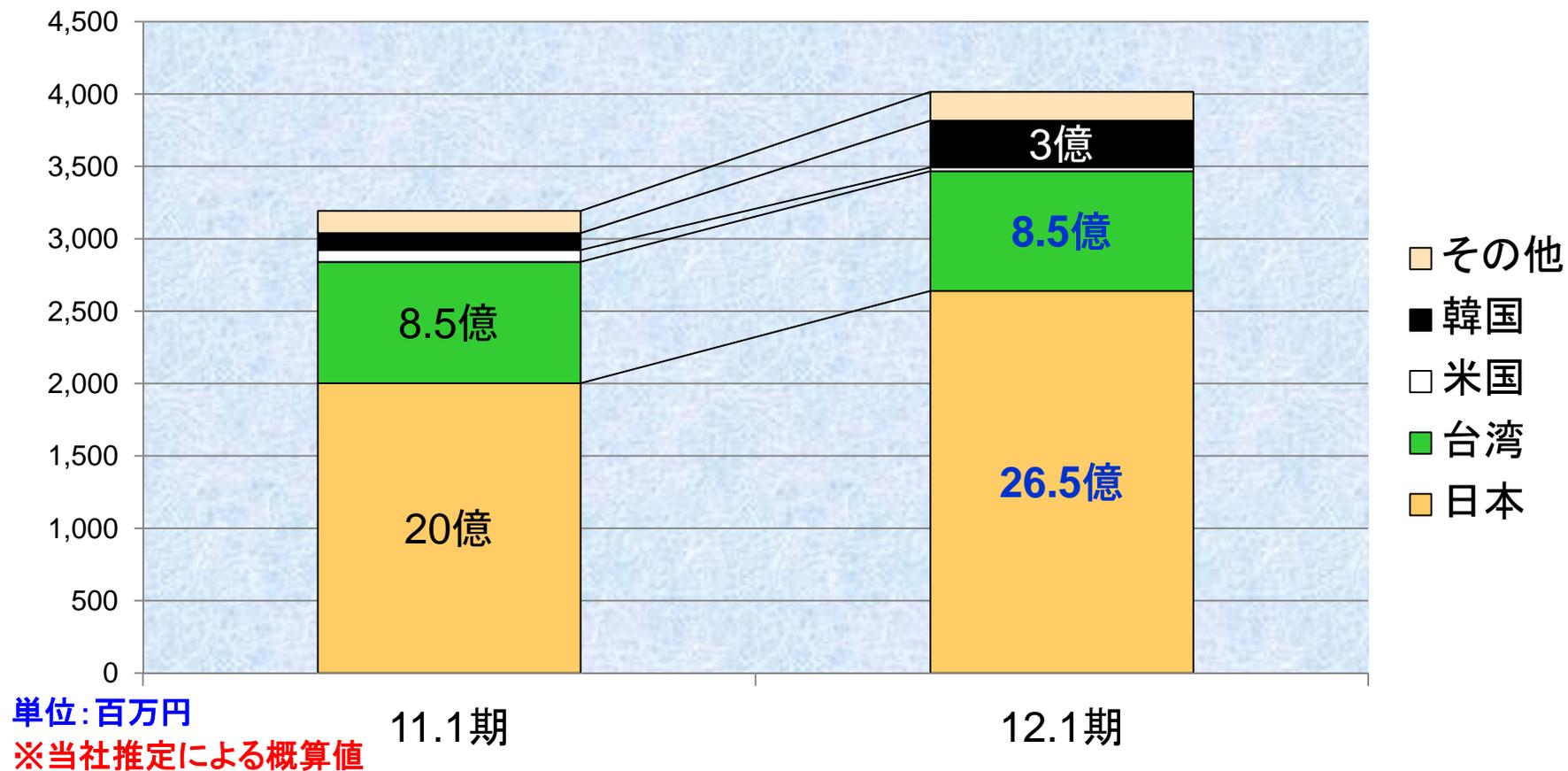
投資CF

有形固定資産の取得	-305
-----------	------

財務CF

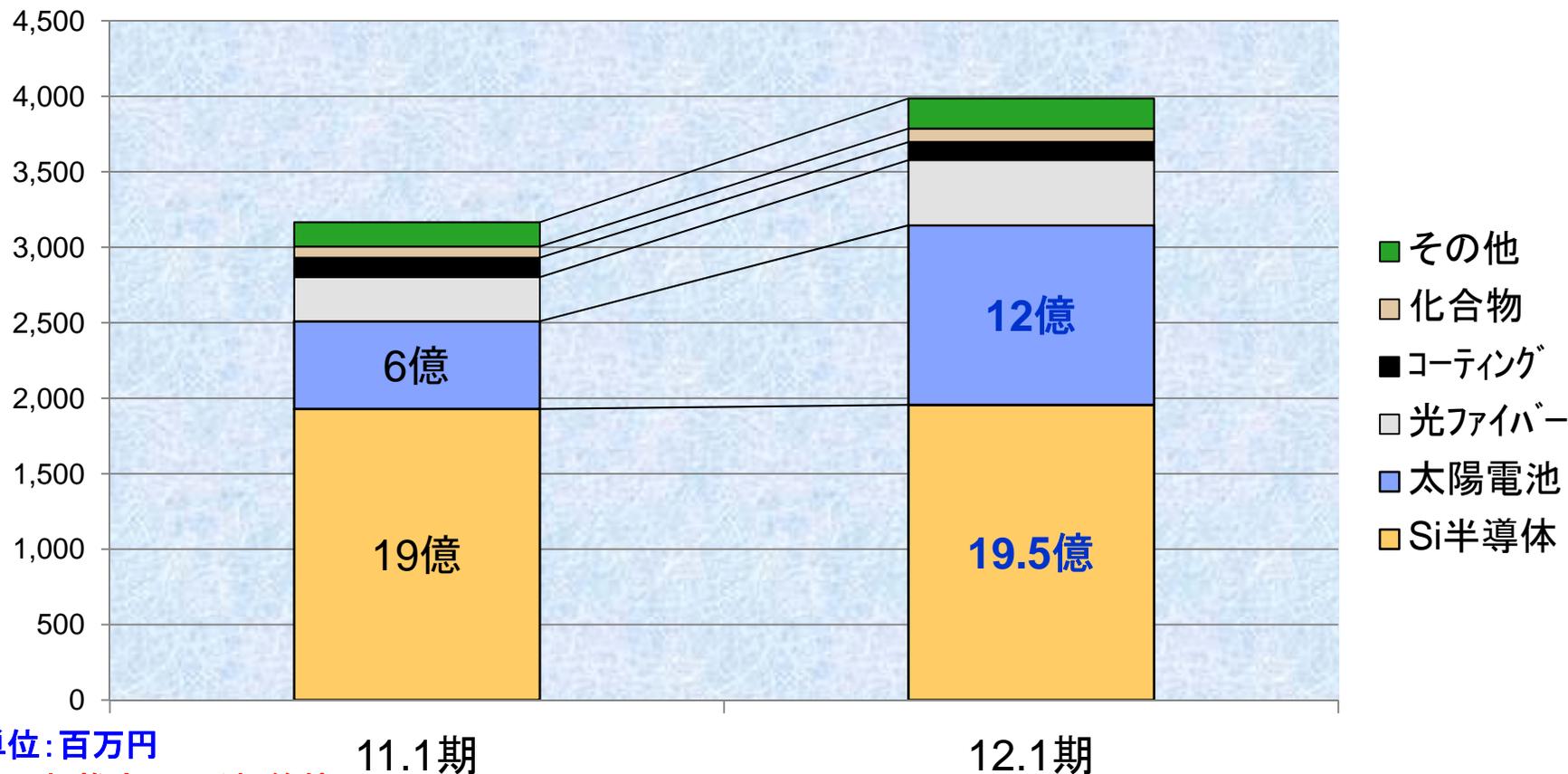
長期借入金調達・返済	+40
配当金支払	-35

売上分析(ユーザー地域別)



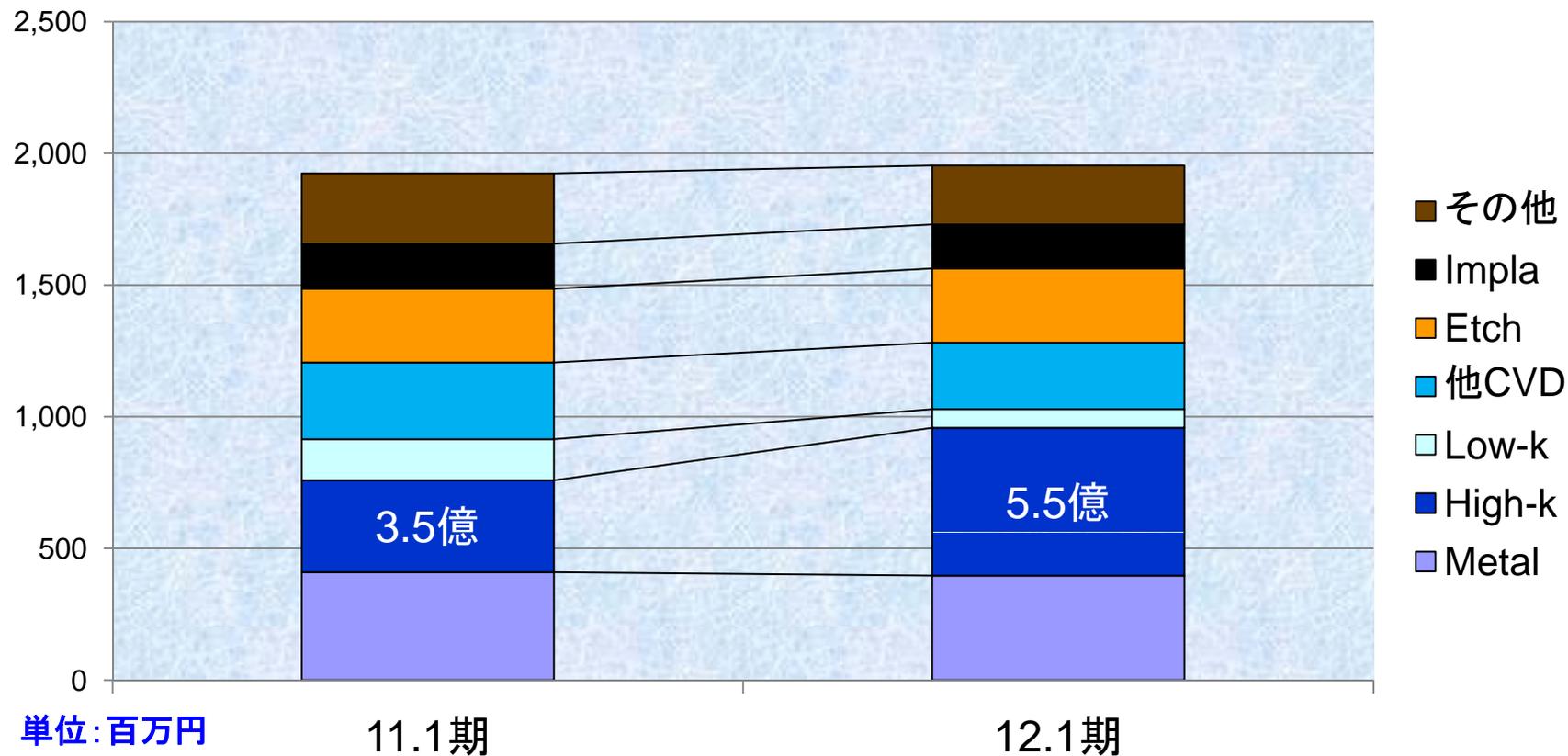
！ 国内向け売上が大幅増
！ 韓国向け売上の成長

売上分析(製品用途別)



！ 太陽電池向け材料が倍増
！ Si半導体向け材料は下期に落ち込み前期比ほぼ横ばい

売上分析(Si半導体)



単位:百万円

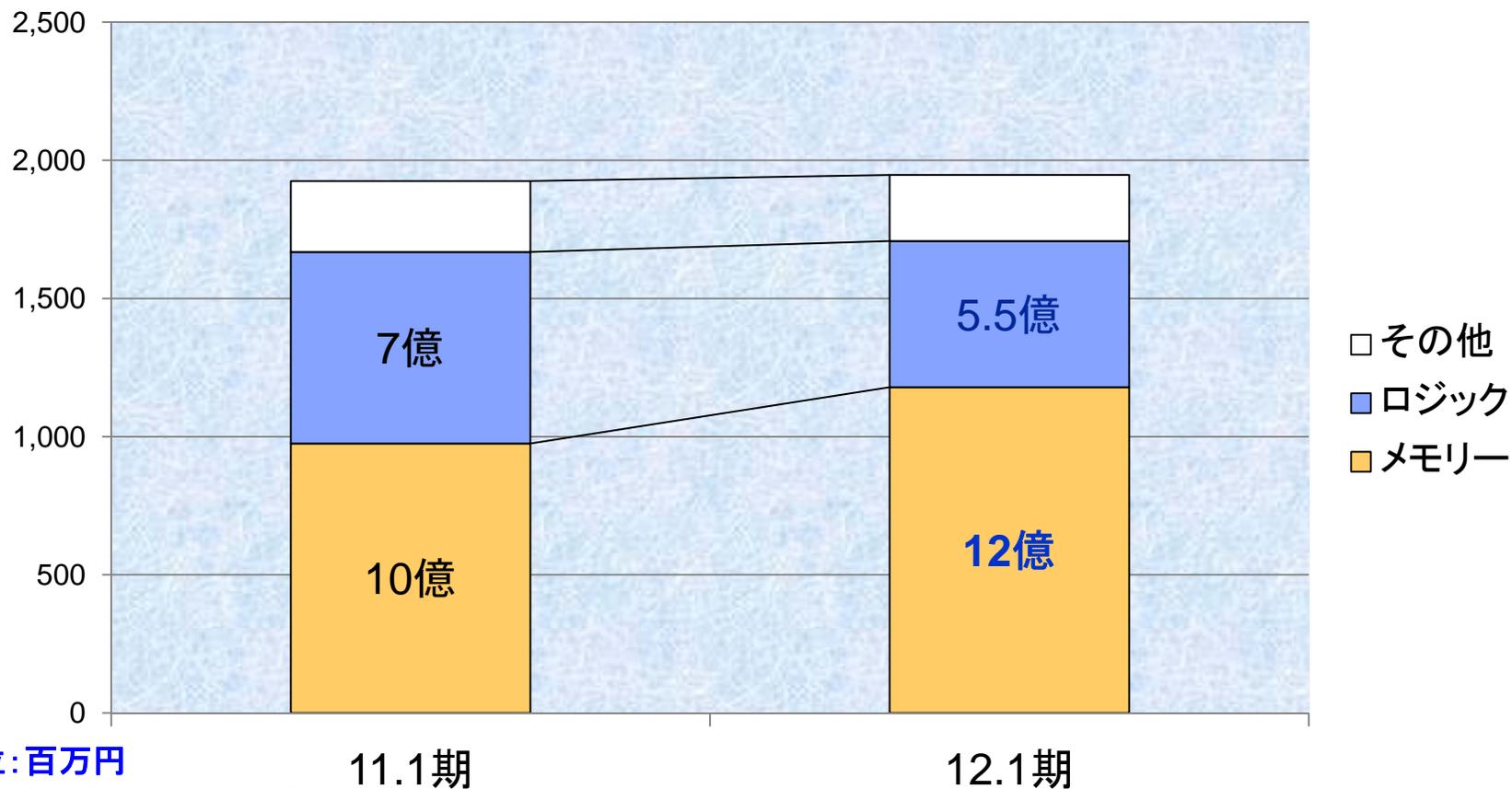
11.1期

12.1期

※当社推定による概算値

! High-k材料が成長

売上分析(半導体向け先別)



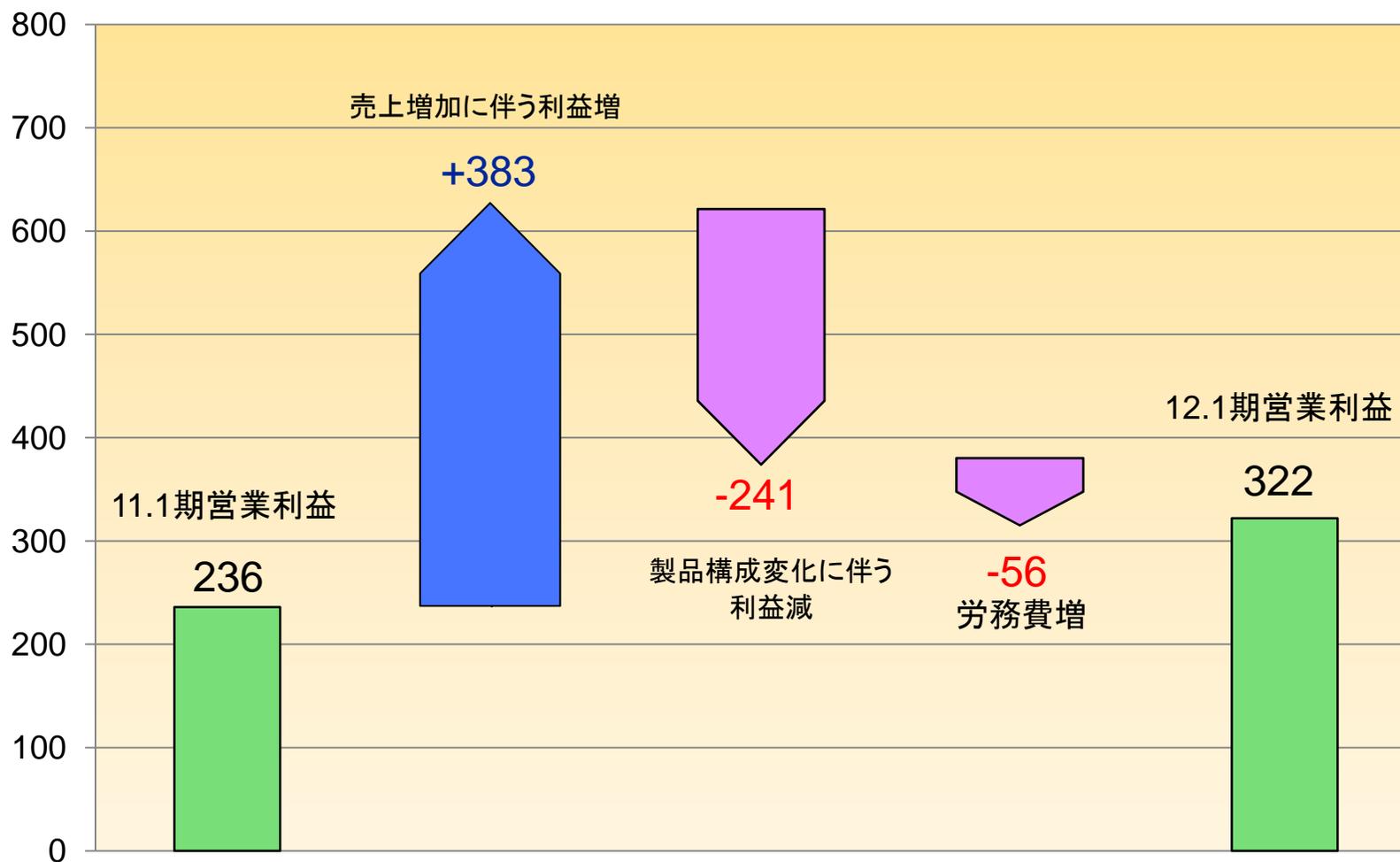
単位:百万円

※当社推定による概算値

！メモリー向け売上が成長

2012年1月期営業利益増減要因

単位：百万円



2. 2013年1月期業績計画

2013年1月期 通期戦略

外部環境

- ・半導体業界は伸び悩み12.1期下期程度の水準で推移
- ・太陽電池業界は不安要素はあるが成長する企業もあり

今期の取り組み・施策

1.売上高増加に向けての取り組み

- ・太陽電池向け材料の販売拡充
- ・東アジアを中心とした積極的な海外展開

2.中長期的成長に向けての社内体制構築

- ・製品の入れ替わり、将来の成長に備え
- ・次世代半導体向け材料の生産体制の確立・強化を
- ・積極的に推進

2013年1月期連結業績予想

	12.1期	13.1期計画	増減率
売上高	4,015	4,000	-0.4%
営業利益	322	150	-53.4%
経常利益	297	136	-54.4%
当期純利益	181	75	-58.7%

！売上高全体としては前年比ほぼ横ばいをキープ
！利益面は前年下期からの製品構成の変化等の影響を受ける

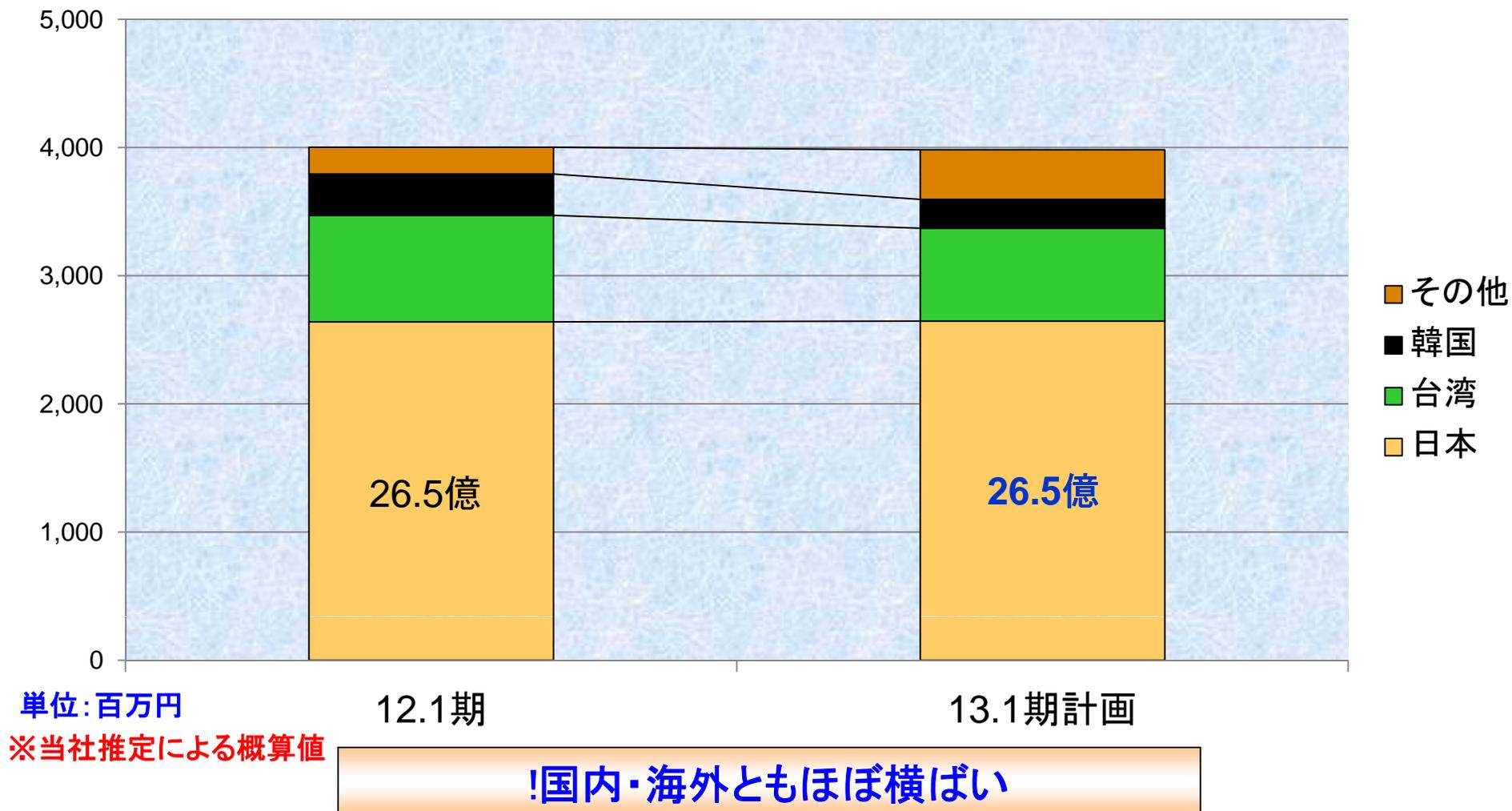
連結業績の推移 (半期毎)

単位:百万円

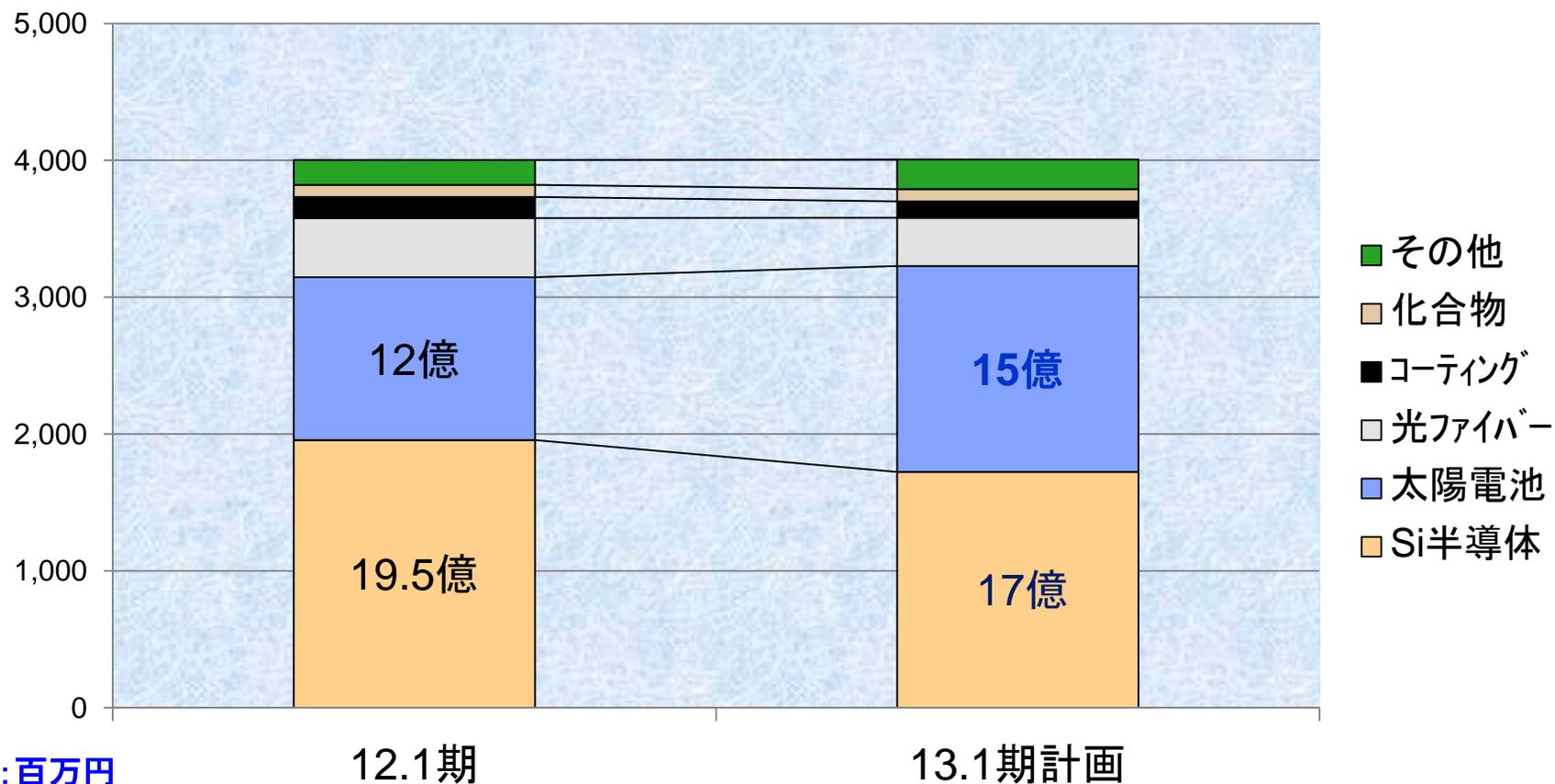


！ 半導体向け材料の停滞により12.1下期より利益率がダウン
！ 13.1期は売上・利益とも年度の後半にかけ回復

2013年1月期売上分析(ユーザー地域別)



2013年1月期売上分析(製品用途別)

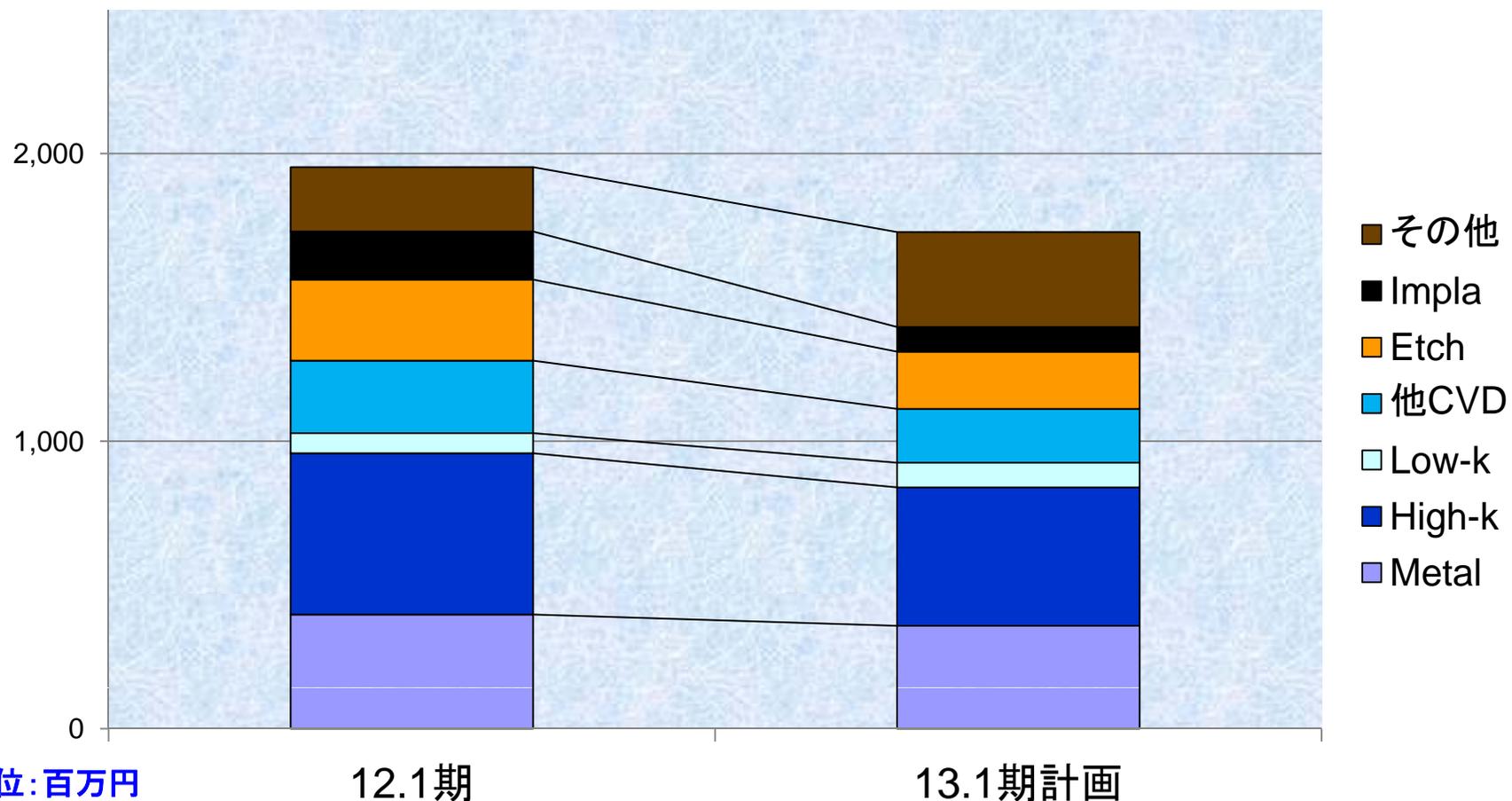


単位:百万円

※当社推定による概算値

！ 太陽電池向け材料売上の増加
！ 半導体向け材料は12.1期下期並みで推移

2013年1月期売上分析(Si半導体)

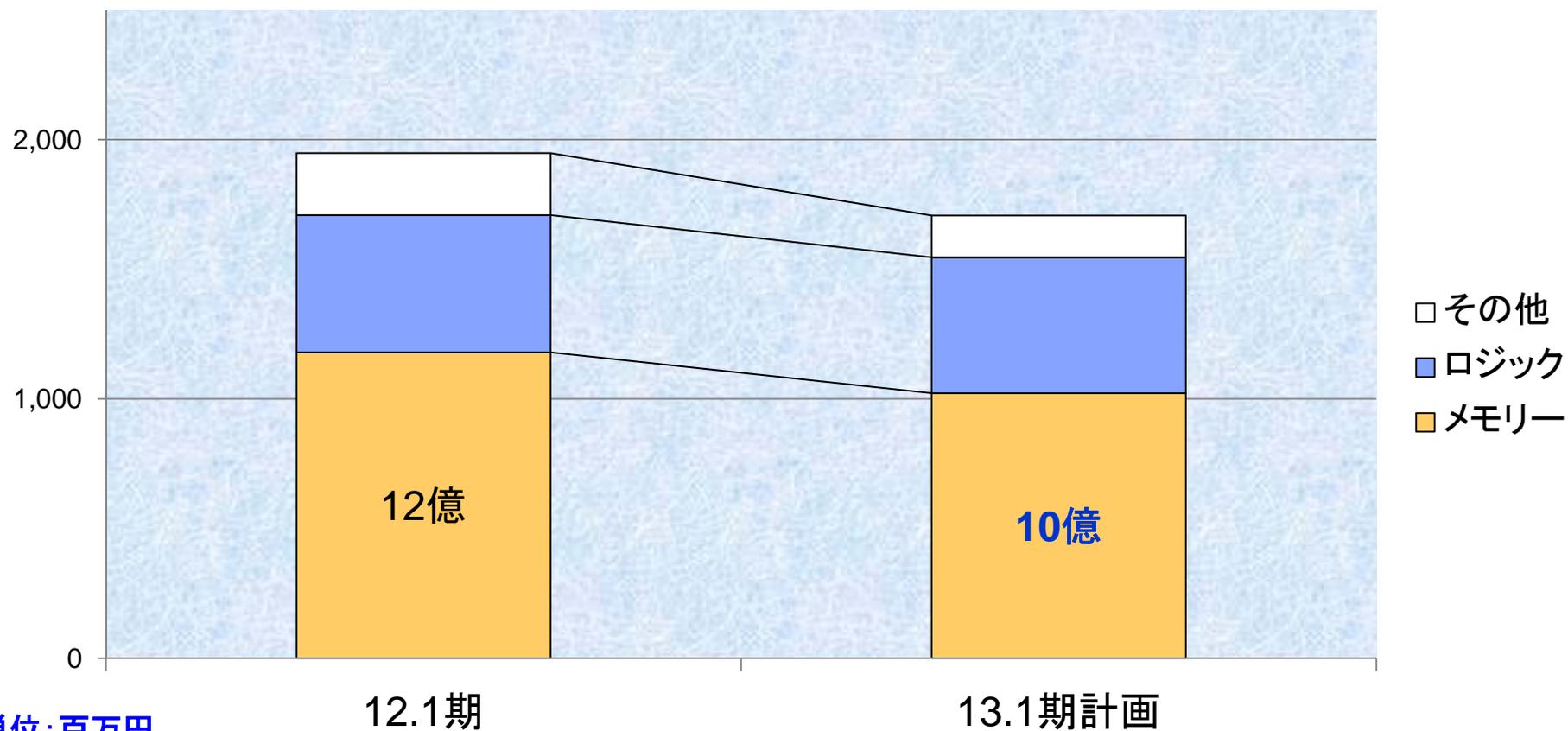


単位:百万円

※当社推定による概算値

！ 全体的に減少し、目立って変動のある分野はなし

2013年1月期売上分析(半導体向け先別)



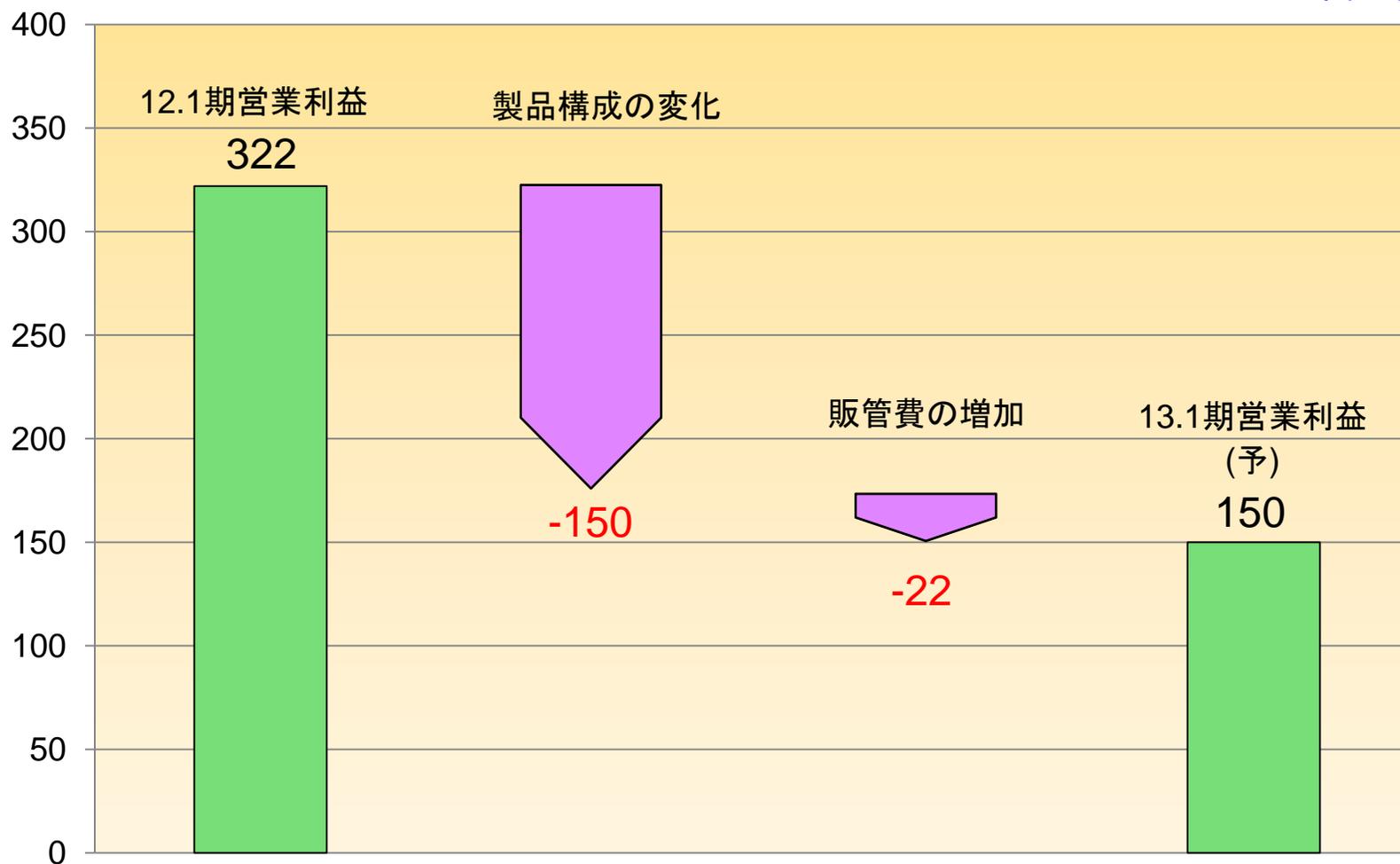
単位:百万円

※当社推定による概算値

！メモリ向け売上が伸び悩み
！ロジック向け売上はほぼ前期並み

2013年1月期営業利益増減要因

単位：百万円



3. 中期経営計画

中期経営計画の前提

1. 為替は80円/米ドルを中心に推移
2. 半導体市場は当面調整局面が続く
太陽電池市場の成長に不安定要因はあるも当社への影響は限定的
3. 予測される販売価格の変動は織り込み済み
4. 設備投資計画及び償却費推移(概算額・百万円)

	13.1期	14.1期	15.1期
投資総額	600	400	400
償却費総額	300	310	320

5. 増員計画 各期とも数名程度の増員を見込む

中期経営計画(数値目標)

単位:百万円

	12.1期実績	13.1期計画	14.1期計画	15.1期計画
売上高	4,015	4,000	4,460	4,830
営業利益	322	150	240	300
経常利益	297	136	228	288
純利益	181	75	143	180

※ご参考:2011.8.31公表中期経営計画

	12.1期 計画	13.1期 計画	14.1期 計画
売上高	4,000	4,410	4,940
営業利益	287	330	560
経常利益	272	315	545
純利益	163	189	325

- ・将来の成長に向けての体制構築
- ・半導体向け材料の伸び悩みで利益は一時的に減少
- ・利益率は徐々に回復に向かう

中期経営計画：達成に向けての課題

1. 市場環境への対応

- ・太陽電池市場はリスクはあるも新規開拓・新規材料の販売増等により成長を目論む
 - ・半導体市場は当面大幅な市況の変動はないと見込むが技術革新により徐々に材料の入れ替わりが進む
-
- ・中国を中心とした東アジア向けの販売体制確立

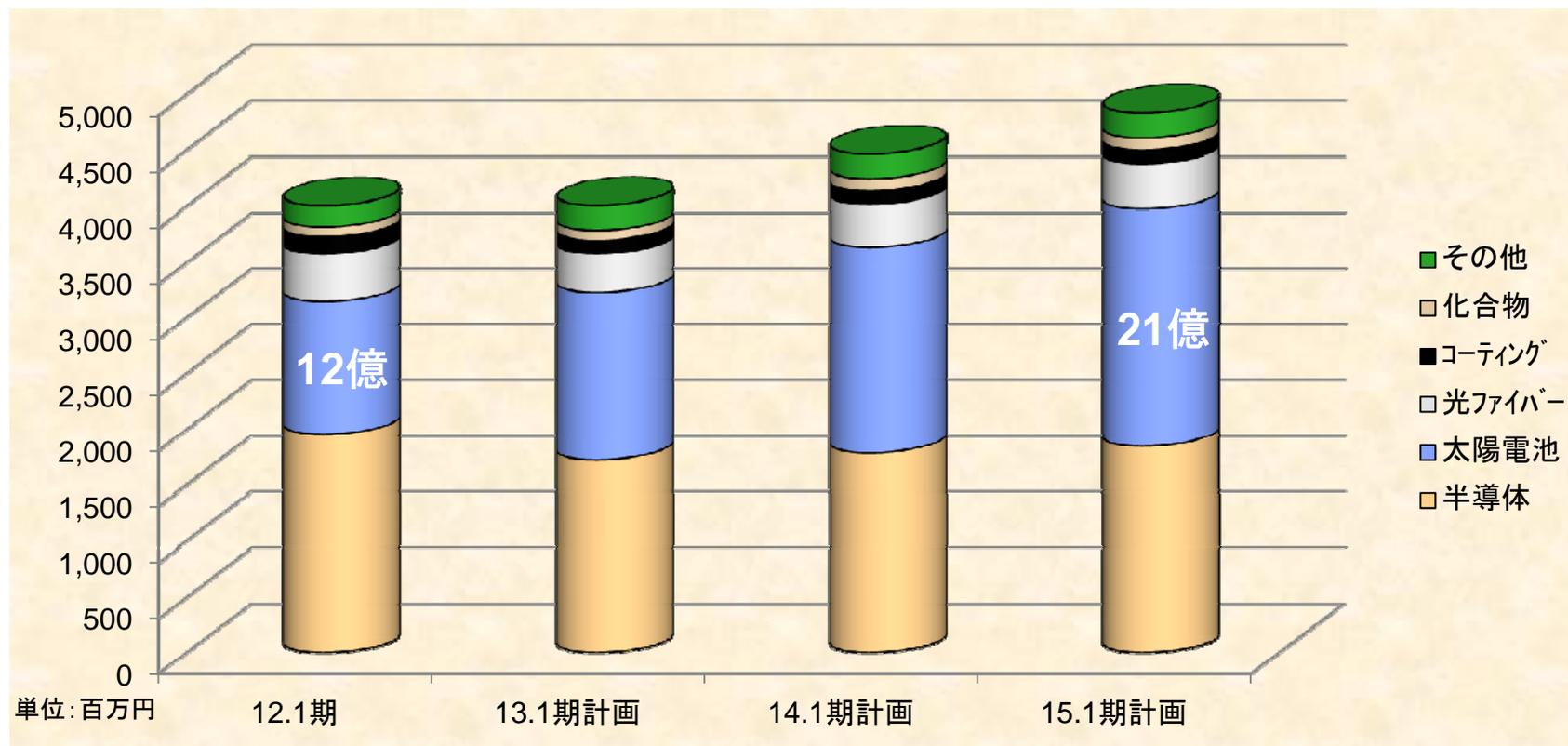
2. 第二工場を中心とした生産体制の整備

- ・中長期的な製品の入れ替わり・大量化に対応するための生産体制の増強は継続
- ・半導体市況回復時に即応できる体制を構築

中期経営計画重点戦略：製品戦略

太陽電池向け材料売上が第一の柱に成長
半導体向けの回復の時期は現状では不透明

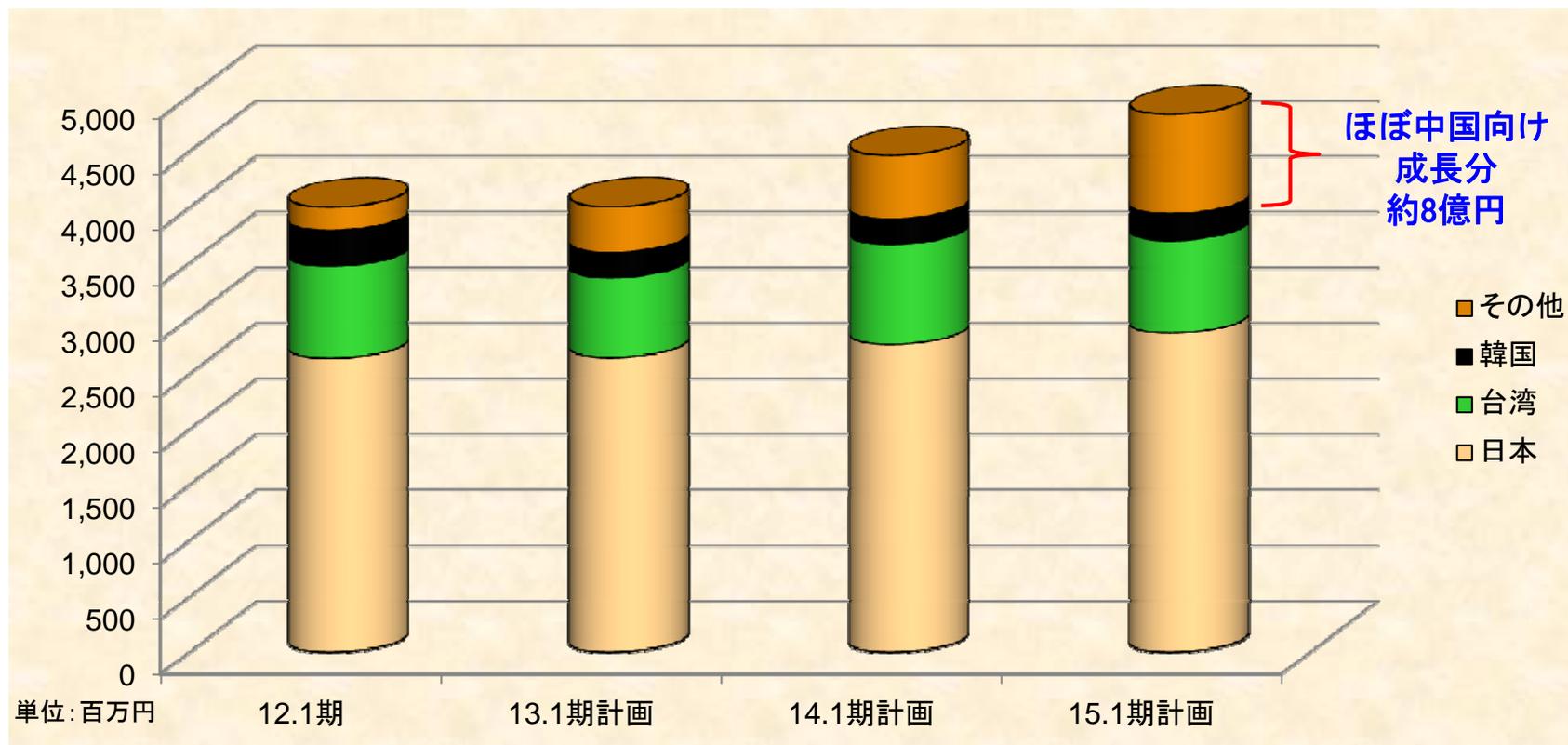
中期販売計画(製品用途別)



中期経営計画重点戦略:地域戦略

国内は太陽電池向け材料の拡販を中心的に
海外は中国等東アジア中心に販売を拡大

中期販売計画(地域別)



中期経営計画：中長期的な成長に向けての体制構築

1.生産・研究・開発体制の強化

- ・中長期的に利益を創出できる生産・研究・開発体制の確立

2.外部との連携強化

- ・迅速な開発体制の維持・確立

3.販売先の裾野拡大

- ・半導体向け・太陽電池向け等、事業の柱の複数化による経営の安定化の推進

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。
あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことをあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先 : homepageinfo2@trichemical.com